

経済用語

- シンプルに考えれば、経済がうんとわかりやすくなる。
余計なもの」をそぎ落とせば、最後に残るのは真実のみ。
本書は、世にはびこる「バカな経済論」を、そんなシンプル思考によって論破するものである。
- マネタリーベース
中央銀行(日銀)が供給する通貨の総額。つまり世の中に出回っている紙幣、硬貨と、民間金融機関の日銀当座預金の合計。
- マネーストック
民間金融機関が供給する現金通貨の総額。つま世の中に出回っている預金の総量に現金を加えた合計。
- 貨幣数量理論
世の中に出回っているお金の量(マネーストック)とその流通速度が物価に影響すると言う考え方。
- 名目 GDP 成長率
GDP とは一年間に国内で生み出されたモノやサービスの総額付加価値であり、GDP 成長率とは、GDP の変動をパーセンテージで示したもの。名目 GDP 成長率とは、物価変動を考慮せずに算出した GDP 成長率のこと。たとえば去年の GDP が 100 万円で今年の GDP が 110 万円だった場合、名目 GDP 成長率は 10%となる。これに物価変動分の調整を加えたもの(去年の物価を共通基準として算出したもの)が実質 GDP 成長率となる。
- 物価は、マネーストックの量とモノの量のバランスで決まる。
貨幣数量理論による。マネーストックよりモノの量が少なければインフレ、マネーストックよりモノの量が多ければデフレとなる。
- マネタリーアプローチ
少ない方の国の通貨の希少性が高まり、価値が高くなるということ。
- 買いオペレーション(対 売りオペレーション)
金融緩和のために、中央銀行(日銀)が民間金融機関の持っている債券や手形を買うこと。金融機関の資金が潤沢となり、金利が下がるという作用がある。
- 政策金利
中央銀行(日銀)が民間の金融機関に融資する際の金利のこと。
- B/C
コスト・ベネフィット分析(費用便益分析)の略称。
かけた費用に対する便益を分析したもの。

- 実質金利（対 名目金利）
物価変動を考慮しない名目金利から（予想）インフレ率を引いた実質的な金利。
- インフレターゲット
政府（または政府と中央銀行（日銀））がインフレ率（物価上昇率）について具体的な目標を掲げ、その達成に向けて中央銀行が金融政策を行うこと。
- BEI (break-even inflation)
固定金利債金利から物価連動金利を引いた数字。
物価連動債とは、元本の金額がインフレ率によって調整されるタイプの国債。固定金利債は物価の上昇にかかわらず元本の額は変わらないが、物価連動債は将来的にインフレになればそのぶん元本が増え、受け取る利子が増える。
- 予想インフレ率
期待インフレ率ともいう。市場（企業や消費者も含む）が予想するインフレ率のこと。BEIをはじめ、さまざまな算出方法がある。量的緩和によって高まる傾向がある。
- バブル経済
不動産や株式などの資産価値が投機によって不当に高騰し、实体经济に見合わなくなった経済状態。
バブル経済になる原因にいろいろあるが、日本では1986年ごろ生じたバブル景気の際、バブルは金融緩和によって起こったと思い込み、日銀の急激な金融引き締めによってハードランディングとなり、バブル崩壊を招いた。
- 金融緊縮（対 金融緩和）
中央銀行（日銀）が行う経済政策のひとつ。
契機が過熱しすぎた際に、売りオペレーションでマネタリーベースを減らしたり、政策金利の引き上げなどの手法で金融引き締めを行うこと。
- 規制緩和
産業や事業に対して政府が設けている規制を取り外すこと。
新規参入などが促され、市場での自由競争が起こるために経済を活性化させる作用がある。たとえばコンビニエンスストアのATMや薬販売なども規制緩和によるもの。
- 民営化
国や地方自治体が運営している企業を民間企業にして運営を引き継ぐこと。
古くは国鉄の民営化（JR）、新しくは郵政民営化（JP）などがある。
- 自由貿易
モノが輸入されるときには税金（関税）がかかる。したがって輸入国での販売

価格には税金分が上乗せされ、輸出側の国と同じ価値にはならない。各国はこうして外国の産業にハンディをつけることで自由産業を守ってきたが、その関税を取り払おうというのが自由貿易。昨今、賛否両論が巻き起こっているTPPもその一種。

- プライマリーバランス
「国の収入－国債発行額」と「国の支出－国債の利子と償還の額」のバランス（収支）のこと。基礎的財政収支ともいう。国債は国の借金なので、発行額と利子・償還額をそれぞれ収入と支出から引いた額で比べることで、より実質的な財政収支がわかる。
- 税と社会保障の一体改革
「社会保障の充実・安定化と、そのための財源確保、財政健全化を一挙に成し遂げる」と謳われた政策。その一環として消費増税が決定された。
- 量的緩和
中央銀行（日銀）が、世の中に出回るお金を増やすこと。金融緩和の一形態。
- 消費者物価指数
消費者が実際に買う際の物価の変動を示す指数。
- デフォルト
債務不履行のこと。企業財政の悪化により借金の利子や元本を期限どおり支払うことができなくなり、倒産に陥ること。国の場合は財政の悪化により国債の利子や償還が遅延もしくは停止した状態を指す。
- 一般物価
一般的に消費される耐久消費財（モノ）の価格と非耐久消費財（サービスなど）の価格を総合した価格。対してミクロ経済学で使われる「価格」は個別品目の価格を指す。
- ねんきん定期便
2009年4月より、社会保険庁が各個人に送付している文書。現在までの納付状況や将来の見込み受給額などが記された、いわば「年金の個人明細書」。
- バランスシート
貸借対照表。記された資産と負債のバランスによって財務状況がわかる。